

Kendai [秋田県立大学広報誌]

イスタ

Akita Prefectural University

Vol.4

県大が
魅力的なワケ。

卒業生×在校生・インタビュー

03-04
INTERVIEW

05-06 研究者紹介

File 01 ハザリカ ヘマンタ

File 02 金澤 伸浩

File 03 田母神 繁

File 04 星崎 和彦

01 NEWS&TOPICS
02 学生自主研究
07 INFORMATION



秋田大学と連携協力協定を締結

本学と国立大学法人秋田大学は、これまでも技術フォーラムや市民講演会の共同開催や学生及び教職員の相互交流、共同大学院設立の検討など、様々な連携・協力を行っていましたが、両大学の理念や特色を活かした大学間連携活動を通じて、相互の教育・研究の一層の進展を目指すとともに、地域貢献、産学官連携、国際交流など各方面に亘る活発な交流や連携強化に組織間で取り組むため、7月22日に連携協力基本協定を締結しました。



02 東京農工大学と連携協力協定を締結

本学と国立大学法人東京農工大学は、両大学とも農学系と工学系の学部から構成されていることから、かねてから研究分野等における連携・協力を実施していましたが、学生教育に関する単位互換やプロジェクト研究及びシンポジウム等の共同実施など、両大学の連携・協力の推進を図るため、7月18日に連携協力基本協定を締結しました。

01

全学

田沢湖ビールとの連携ビール発売

秋田県仙北市にあります田沢湖ビール(株式会社わらび座)と連携して造りました、原料100%県内産ビール「秋田まるごと自然仕込み あきた麦酒恵」が10月17日に販売になりました。

本学大湯キャンパスで作られた麦と和賀山塊からの伏流水、田沢湖ビールで自家栽培したホップとニッ井町の桜から採取した天然酵母とまさに秋田県産と呼ぶにふさわしい地ビールです。すっきりとした味わいとどごしで、ついつい飲み過ぎてしまうかもしれません。是非、皆さんも味わって下さい。



全学

03



竿燈祭り妙技会で県大竿燈会が大健闘!

秋田県立大学竿燈会は、第62回竿燈妙技会(8月4日~6日)大若団体規定演技において、見事に準優勝しました。秋田県随一の伝統芸を競う歴史ある大会において、1昨年の4位入賞を上回る好成績であり、同竿燈会が創設8年目にして成し遂げた初の快挙です。

また、大若団体自由演技でも5位入賞を果たしました。なお、離子方団体規定演技において上位入賞した「秋田市役所チーム」および「あきぎんチーム」でも、本学竿燈会の卒業生が大活躍しました。



04

秋田キャンパス



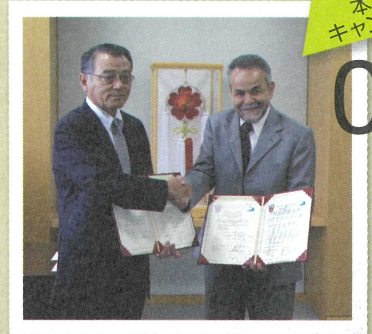
弓道部 秋田県民大会で優勝!

秋田県立大学弓道部(砂弓会)は第59回秋田県民体育大会 弓道競技 成年の部(7月13日)で、女子団体優勝、男子団体4位、女子個人3位という成績を修めました。

秋田県立大学弓道部は現在、両キャンパスで男子20人、女子13人の計33人で活動中。悪天候や冬期間は、練習することができないという環境の中での大活躍です。女子団体優勝メンバーである横山咲さん(生物生産科学科3年)は「リーグ昇格や国体選手を目指し、さらに練習に励んでいきたいと思っています」と抱負を語ってくれました。

05

秋田キャンパス
本荘キャンパス



グアダハラ大理工学部と学部間交流協定を締結

本学システム科学技術学部は、メキシコのハリスコ州立グアダハラ大理工学部と学術交流の協定を締結しました。調印式は7月29日に本荘キャンパスで行われ、本学システム科学技術学部の小林学部長とグアダハラ大理工学部のデルガディョ経営工学科長により、協定書に署名が行われました。両学部は今後、研究者や学生の相互訪問などを通して交流を深めることとしています。

06

本荘キャンパス



崎山助教が日本建築学会奨励賞を受賞

建築環境システム学科の崎山俊雄助教(建築計画学グループ)が、社団法人・日本建築学会の「2008年日本建築学会奨励賞」を受賞しました。受賞対象論文:「明治初期における官舎制度の形成過程について—近代日本の官舎建築に関する歴史的研究—」

この賞は「新進の研究者(審査対象業績の発表時点で満40歳未満の者)による、近年中に発表された獨創性・先駆性・萌芽性・将来性のある建築に関する優れた論文」に与えられるものです。本学では昨年度の長谷川兼一准教授(建築環境学グループ)に続き、2年連続の受賞となります。

07

本荘キャンパス



須藤教授がSEM(実験力学会)のR.E. Peterson Awardを受賞

6月4日、アメリカのフロリダ州オーランド(ローゼンプラザホテル)で開催されたSEM(Society for Experimental Mechanics:米国実験力学会)の国際会議の席において、機械知能システム学科の須藤誠一教授が「飛行昆虫の翅の特性とはばたき挙動」に関する研究で「R.E. Peterson Award」を受賞しました。

今回の賞は、2005~2006年度に学会論文集「Experimental Mechanics」で公表された実験力学の応用分野に関する論文の中で、最も優れた論文に与えられる賞です。

この賞が創設された1971年以来、日本人グループとしての受賞は、今回の須藤教授が3番目となります。

08

本荘キャンパス



本学教員が第48回日本木材学会賞を受賞

木材高度加工研究所の中村昇教授の「木質構造信頼性設計のための木材強度データ解析と設計法確立」をテーマとする研究が第58回日本木材学会大会において最高賞の「第48回日本木材学会賞」を受賞しました。

木材の強度データ解析などによる破壊確率の算定で木質材料の強度的性質を推し量る限界状態設計法を考案したもので、今後の普及が期待されています。

09

木材高度加工研究所

学生自主研究

STUDENTS' VOLUNTARY RESEARCH PROJECTS

学生自主研究は1、2年生が研究費をもらって行うことができる制度。興味深いテーマに対して、自分たちでグループを組織し、計画を立て実施。アクティブに挑戦する学生たちを紹介。

ISUNA.

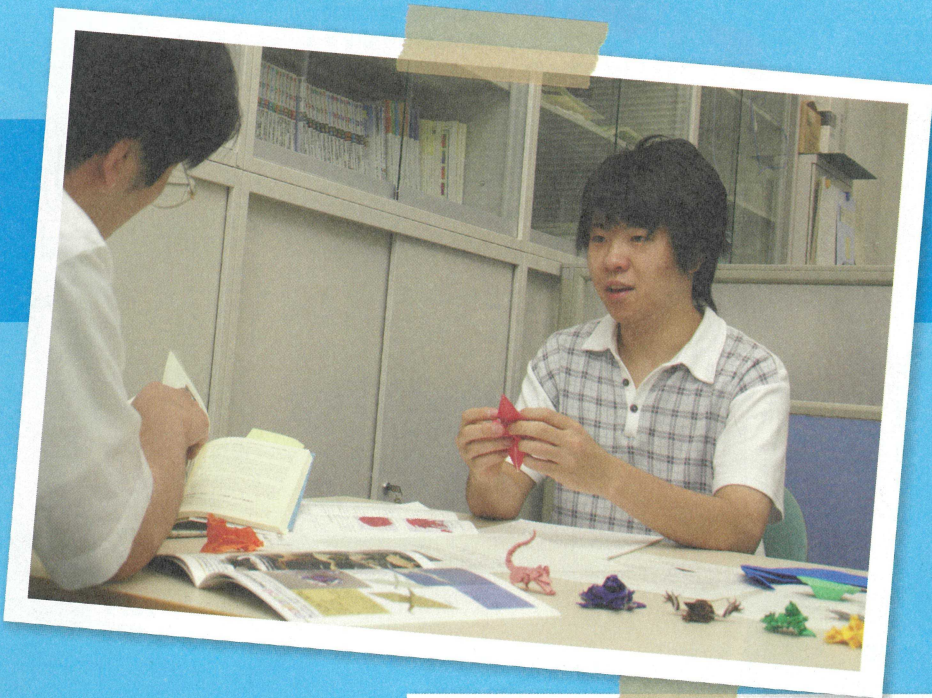
Report. 1

>>> 本荘キャンパス

システム科学技術部
電子情報システム学科

研究名

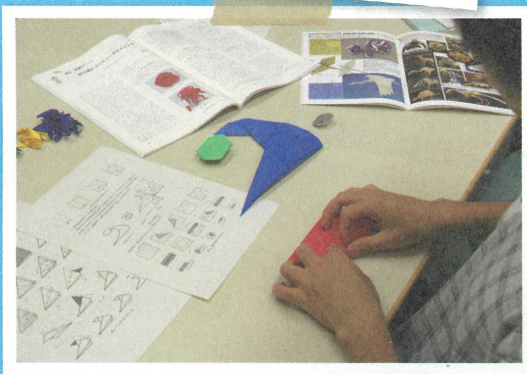
現代折り紙研究



石川 雅士

新潟県出身
新潟第一高校

紙一枚と一時間も格闘すると、何か見えてきます。やってみてください。日本の伝統文化"折り紙"は海外でも評価が高まっています。その可能性、将来性が広がって欲しいと思います。



Q 研究の目的を教えてください。

A 宇宙船のソーラーパネルには、宇宙空間での折り畳みを容易にする「ミウラ折り」と呼ばれる折り紙の技法が役立っています。身近なところでは、「竜巻折り」と呼ばれる折り方を利用して、わずかな力で潰せるペットボトルが試案されています。本研究の目的は、折り紙と幾何学との関係を検証し、現代の折り紙設計の技法を用いて新たな形の折だしを考案することです。一例として県立大のマークを折りました。

Q 研究に取り組むことになったきっかけは？

A 中学生の時、「ビバおりがみ」（前川淳著）に掲載されていた「悪魔」の折り紙と出会ったのがきっかけです。同級生が作った物を見せてもらったのですが、とても一枚の紙から折り出されたとは思えない、複雑難解な形状でした。解体すらできなかった当時の驚きが、今も探究心を駆り立てます。

Q 研究の楽しさ、やりがいとは？

A 平面の紙を立体の造形にすることは、芸術性と数理性を備えています。また、折り方によって対象に強度や柔軟性をもたらすこともできます。それらを発想することが、折り紙の楽しさです。しんどさもありますが、乗り越えた時には折り紙のさらなる可能性を感じます。

Report. 2

>>> 秋田キャンパス

生物資源科学部
応用生物科学科

研究名

クラブアップルの美味しく体に良い調理加工法の研究

Q 研究の目的を教えてください。

A 庭園果樹として人気が高いクラブアップルに、健康増進に寄与するポリフェノール成分が多いことがわかったので、クラブアップルの有効成分を損なわずに、美味しく摂取できる方法を探索・開発することを目的としました。



Q 研究の楽しさ、やりがいとは？

A 自主研究は、1年生でも専門的な実験ができるので、食物繊維やビタミンの測定など、どのような仕組みで測定できるのかが理解できて、とてもやりがいや楽しさを感じることができました。また、クッキーを作るときもグループのみんなでいろいろアイデアを出し合っていて、協力して作ることができて楽しかったです。

Q 自主研究活動の良いところを教えてください。

A 自主研究は、実験を通して自分の興味あることが調べられ、同時に実験技術や機械の扱いを学ぶことができます。また、他の人はしていない自分だけの研究をすることができて、自信を持つことができます。



渋谷 美樹

青森県出身
青森東高校

庭園果樹のクラブアップルが食用リンゴより有効成分が多いことに驚きました。

田村 佳奈

岩手県出身
盛岡北高校

この研究では普段の授業では使わない機材を使ったので、とてもいい経験になりました。

藤田 ゆり

富山県出身
福岡高校

自主研究を通して食物の栄養についてさらに興味がわきました。

成田 愛実

秋田県出身
秋田中央高校

自主研究は、自分がやりたいことを早いうちから専門的にできるので絶対ためになると思います。

鈴木 友香

秋田県出身
角館高校

クラブアップルは食用リンゴより優れた食材なので、実際にクラブアップルを用いた食品が増えたらいいなと思います。

築館 亜由美

青森県出身
東奥義塾高校

リンゴが特産の青森県出身なので、この研究はとても興味深く、やってみて良かったです。

システム科学技術学部
機械知能システム学科卒

嵯峨 真一

さが・しんいち

勤務先名：株式会社三栄機械（由利本荘市）

●出身県：秋田県 ●出身高校：由利工業高校 ●卒業年：平成16年3月（2期生）



メモ帳
こまめに書き込んで
は見て思い出す。物
事を忘れないため
の必需品です。

株式会社三栄機械（由利本荘市）

産業機械設計・製造、各種機械のメンテナンス、アルミ・ステンレス等の製缶、鋼構造物の設計・製作など幅広く対応。近年は航空機関連の業務を拡大し、機体の整備や製造に必要な装置（治具）を製作している。2008年度「元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれている。



機械加工は
技術力と発想力。
さらなる技術の
向上を目指します。



SHINICHI SAGA

県立大出身後輩の
遠藤貴之さん（中央）と高橋瞬さん（左）

Q 今の仕事に就くことになったきっかけを教えてください。

A 高校から大学まで機械関係の学科に所属していましたので、この会社に入ったら知識や経験を生かせると思い入社しました。県立大から入社したのは私が初めてでしたが、最近では県立大の後輩が増えてきたので嬉しいです。

Q 仕事で面白いところ、大変なところを教えてください。

A 機械加工は技術力と発想力が試されるので、難しいですがやりがいがあります。経験を積んで、現在は大型製品の加工を任されています。大型製品となると材料費も高額となりますので、不良品を出さないよう慎重に作業を進めるのはかなり神経を使います。

Q 現在の仕事は大学で身につけたことが役に立っていますか。

A 大学で勉強した鉄、アルミ、ステンレスなどの材料特性に関する知識は、機械加工においてはとても役に立っています。

Q 県大での一番の思い出を教えてください。

A 大学4年生の時、徹夜で卒業論文（超音波援用研削について）を書いたときです。根性がつきました！

Q 秋田の良いところを教えてください。

A 秋田の一番良いところは、常に自然に溢れているところです。男鹿半島の入道崎。角館の桜祭り。由利本荘市からの鳥海山の景色。秋田に生まれて良かった～！

生物資源科学部
生物環境学科卒

県立大の先生方には
今でもお世話に
なっています。

Q 現在、ご担当されている業務はどのようなものですか。

A 公園の緑地管理が主体ですが、植栽工事や伐採工事など、緑地に関する工事を担当することもあります。見積り・プランから現場施工まで未熟ながらいろいろやらせてもらっています。

Q 仕事で面白いところ、大変なところを教えてください。

A 自分の施工で樹木や草花が元気になったり、納得いく物ができて、それがお客さんに喜んでもらえるとうごく嬉しいし、やりがいを感じます。大変なことは天候に左右される事が多いので、工期に間に合わないという焦りや不安があることですね。

Q 現在の仕事は大学で身につけたことが役に立っていますか。

A すべてが身になっています。知識はもちろんですが大学時代のすべての出会いが私にとって宝物です。県立大の先生方には、害虫の防除や植物についてのことなど、今でもお世話になっています。

Q 卒業後、同級生と会うことはありますか？

A 農協、農業メーカーなどに就職した級友と仕事上でやりとりすることが度々あります。会うと心強く、嬉しいですし「自分も頑張ろう」と思っています。

Q 県大での一番の思い出を教えてください。

A 卒業論文の作成が一番の思い出です。大変でした。大学4年生は就職活動と卒業論文の忙しさが相まって心身ともに疲れました。でもそれが身になっていると今は感じています。がむしゃらなあの時の自分と、支えてくれた先生にありがとうございました☆

高橋 啓子

たかはし・けいこ

勤務先名：むつみ造園土木株式会社

●卒業年：平成15年3月（1期生）



むつみ造園土木株式会社

主な業務は造園工事、土木工事、法面工事、緑地管理。公共の下水道工事から個人のお宅の外構や庭の手入れまで、幅広く行っている。現在は秋田市の小泉湯公園や大湯村の生態系公園の指定管理者として管理運営も行っている。

はさみ
入社したころに自分で購入しました。自分専用で4年以上使っているの、とても手になじんでいます。

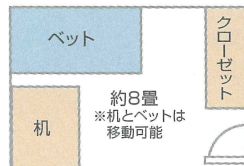
施設紹介

学生寮 ～大湯キャンパス～

全館個室の学生寮は希望者全員入寮可能



大湯キャンパスの広大な敷地内にある学生寮「清新寮」は、7階建ての近代的な建物に200台収容の駐車場、厚生会館などが完備され、さらに全館個室で2食付（朝、夕）となっているため、充実の学生生活を送ることができます。また、学生寮と秋田キャンパスの間でシャトルバス（無料）を運行しており、授業やサークルなどの都合に合わせて利用することができます。

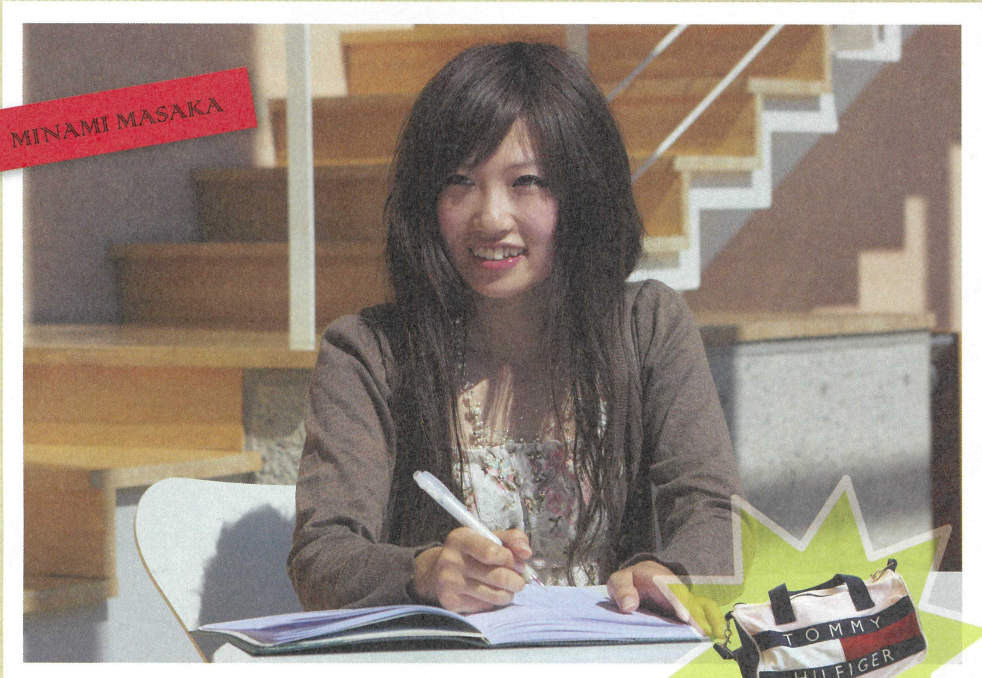


- 寮費：月額46,000円（平成20年度）
※寮費には、食事（平日は朝夕、土日祝日は昼食も有り）、光熱水費、共益費が含まれます。
- 洗濯：洗濯機は全自動で使用料はかかりません。
※洗剤等は、各自持ち込みです。

生物資源科学部
応用生物科学科

真坂 みなみ まさか・みなみ

●出身県：秋田県 ●出身高校：由利高校 ●学科・学年：応用生物科学科 2年



TOMMY HILFINGERのバック
このブランドが大好きなので、通学の時も使っています。

Q この大学、学部、学科を選んだ理由は？

A 自主研究が1、2年次にできるということが魅力的だったためです。私は2年から取り組み始めました。また、就職率が高いということにも魅力を感じました。私は生物ですが、特に化学が好きなのでこの学科を選びました。

Q 大学生活で楽しことは？

A やはり、大学の友達とカフェテリアで話すことです。こういう何気ないことで大学生だなあとしみじみ感じます。

Q 今一番力を入れていることは？

A 時間を有効に使うこと。大学生は学校だけがすべてじゃないので、空いた時間にアルバイトをしたり、いろんなことに目を向けたいです。また、資格もたくさん取って、毎日充実した生活を送りたいです。

Q 将来の目標は？

A まだ、漠然としてますが、製薬会社や食品会社の仕事に携わりたいです。また、在学中に取れる資格はたくさん取っていきたいです。

Q 将来を考えている後輩へのメッセージをお願いします。

A とにかく今あることを一生懸命やって、悔いのない学校生活を送って下さい。一生懸命にやっていたら何事も道は開けてくると思います。ぜひ秋田県立大学と一緒に勉強しましょう！

今あることを一生懸命やって
充実したキャンパスライフを
送っています。



システム科学技術学部
経営システム工学科

オープンキャンパス
参加がきっかけ。
そのときの実験が興味深く、
進学を決めました。

Q この大学、学部、学科を選んだ理由は？

A まだはっきりと進路を決めていなかった高校3年生の夏にオープンキャンパスへ参加しました。経営システム工学科の学科紹介で、脳波測定やアイマーク・レコーダー、動作分析機器を用いた実験がたいへん興味深く、県立大学へ進学しようと思いました。

Q 印象に残っている研究、授業等は？

A 1、2年生のときに行った自主研究です。オープンキャンパスへ参加した時に興味を持ったアイマークレコーダーを用いて、自動車を運転する際の危険予測に関する人の反応を見る実験を行ったことは特に印象に残っています。

Q 今一番力を入れていることは？

A 就職活動に向けて積極的に資格を取得したり、インターンシップへ参加したりと頑張っています。

Q サークル活動はしていますか？活動の中で楽しいことは？

A 1年生の時から男子バスケットボール部のマネージャーとして頑張っています。バスケ部は、学年を問わずみんなの仲が良い部活です。大会が多く、遠征などもたくさんあって楽しいです。

Q 将来を考えている後輩へのメッセージをお願いします。

A 遊べる時はしっかり遊んで、勉強する時には勉強をする。何事にも全力で取り組むことが大切だと最近気づきました。皆さんも自分を信じて進んでいってください。

鈴木 千織 すずき・ちおり

●出身県：秋田県 ●出身高校：御所野学院高校 ●学科・学年：経営システム工学科 3年



Vivienne westwoodの財布
ずっと欲しいと思っていたものです。家族旅行で大阪に行ったとき、遂に買ってしまいました。

サークル紹介

竿燈会

地域の方々とのつながりが広がる！



今年、竿燈の技を競う「妙技会」で、見事「大若団体規定 準優勝」を果たした「竿燈会」。その8代目会長である菅田季伸さん(生物環境科学科3年)にお話を聞きました。

Q 日頃の練習は？

A 主に体育館横の庭と体育館内で、週3回各2時間練習しています。



Q 活動内容は？

A 8月上旬に行われる「秋田竿燈まつり」に参加すること。また、大学祭や県立大で行われる学会などで演技を披露しています。それから、毎年数名ですが海外公演にも参加させていただいています。

Q サークルをやっていると、楽しいこと苦労したことは？

A 竿燈を通して学生同士や地元の方々との交流がもてるのが楽しいですね。また、「竿燈まつり」は伝統のあるお祭りなので、竿燈のしきたりを守って、観客に喜んでいただける演技ができるよう、メンバー全員に徹底することが大変でした。

Q サークルのPRをお願いします。

A 創立7年目となりOB、OGも100名を超えました！卒業しても竿燈会の一員として現役生とともに練習し、竿燈まつりに参加できます。毎年、前年度以上の演技ができるよう、頑張っているの、ぜひ竿燈まつりを見に来て下さい！

●サークル名：竿燈会
●創立年：2001年
●現在部員数：64名
●主な受賞歴
竿燈まつり妙技会

・2007年/大若団体規定 6位、大若団体自由 5位、大若個人規定 8位、10位
・2008年/大若団体規定 準優勝、大若団体自由 5位

ISUNA-INTERVIEW.



File **01** 准教授
ハザリカ ヘマンタ
Hazarika Hemanta

建築環境システム学科
建築構造力学グループ



HAZARIKA Hemanta

研究内容

●使用済みタイヤのリサイクル材を用いた免振および耐震工法の開発

車社会の発達に伴い、日本では毎年人口にほぼ匹敵する本数の廃タイヤが発生しています。廃タイヤのリサイクルは大部分が燃料に利用しており、そのCO₂発生量は地球環境に悪影響を与えています。このため、CO₂排出量が約1/4になる材料への再生利用に、転換する必要があります。現在の研究の特徴は、廃タイヤを裁断したタイヤチップを建設材料として再利用し、その優れた圧縮性、耐震性、免振性、耐久性および断熱性を活用することにあります。タイヤチップを構造物の基礎地盤に利用することにより、地震時の被害を防ぐ新工法の開発を試みています。

01. 今の研究に取り組むことになったきっかけは？

廃タイヤの環境負荷を減らすことを目指すタイヤメーカーの呼びかけで、軽量材・リサイクル材を用いた地盤改良技術の開発を専門とする私、そして建設業者との三者で共同研究をすることになりました。廃タイヤの材料的なリサイクルはCO₂の発生量が少なく、京都議定書の理念に相応しいと感じました。

02. 研究の楽しさ、やりがい？

国内外で研究発表をした際に「面白い、ユニークなアイデア」などと言われる時に、研究の楽しさを改めて感じます。また、学生たちが、興味を持って一生懸命に研究を頑張る姿を見ると、やりがいを感じます。現在の研究によって、科学技術の進歩と建設業界の発展に、少しでも貢献できることは何よりも幸せと思っています。

ワタシの愛用品



コンパクトデジカメ

どこかに出かける際には必ず持って行きます。建築物や土木構造物の写真を撮って、「耐震性の向上にタイヤチップをどのように利用できるだろうか」と考えるのが楽しみです。撮影した構造物の写真は学生の教育にも役立ちます。講義への関心を高めるとともに、教科書に載っていないものを学ぶ機会を与えることができます。

File **02** 准教授
金澤 伸浩
Nobuhiro Kanazawa

経営システム工学科
プロセス管理グループ



研究内容

①水環境中の物質の動きを把握する研究 ②持続可能な社会に向けた資源利用の研究

1. 汚染された水環境を改善したり、周辺を開発したときに水環境がどのように変わるのかを予測したりするには、現状の物質の動きを把握することが基本になります。濃度や量の測定に加え、安定同位体を測定して自然環境中の物質の動きをつかむ研究をしています。

2. 化石燃料の枯渇に伴って、現在の社会システムは大きく変わることになります。生物資源を有効に使うなどして、化石燃料に頼らない持続可能な新しい社会に向けた転換を始める必要があります。具体的にどう取り組むか、様々な環境問題を一步一步引いて見ながら、その方法を考えています。



01. 研究の楽しさ、やりがい？

研究が人の役に立つかもしれないと思うと楽しく、自分が誰かから頼りにされるとやりがいを感じます。地味な研究を続けるのは苦痛に感じることもありますが、ぐちゃぐちゃのデータの中から法則を発見したときは、とても気持ちいいですね。

02. 県大の良いところを教えてください。

まずは施設。研究機器の立派さもありますが、電気や水、空調、インターネットなどのインフラが自由に使える、メンテナンスもしっかりしているのが有り難いです。外に目を向ければ、手頃な自然に恵まれ、地域の方々に温かく見守って頂ける素晴らしい立地が何よりも良いところだと思います。

ワタシの愛用品

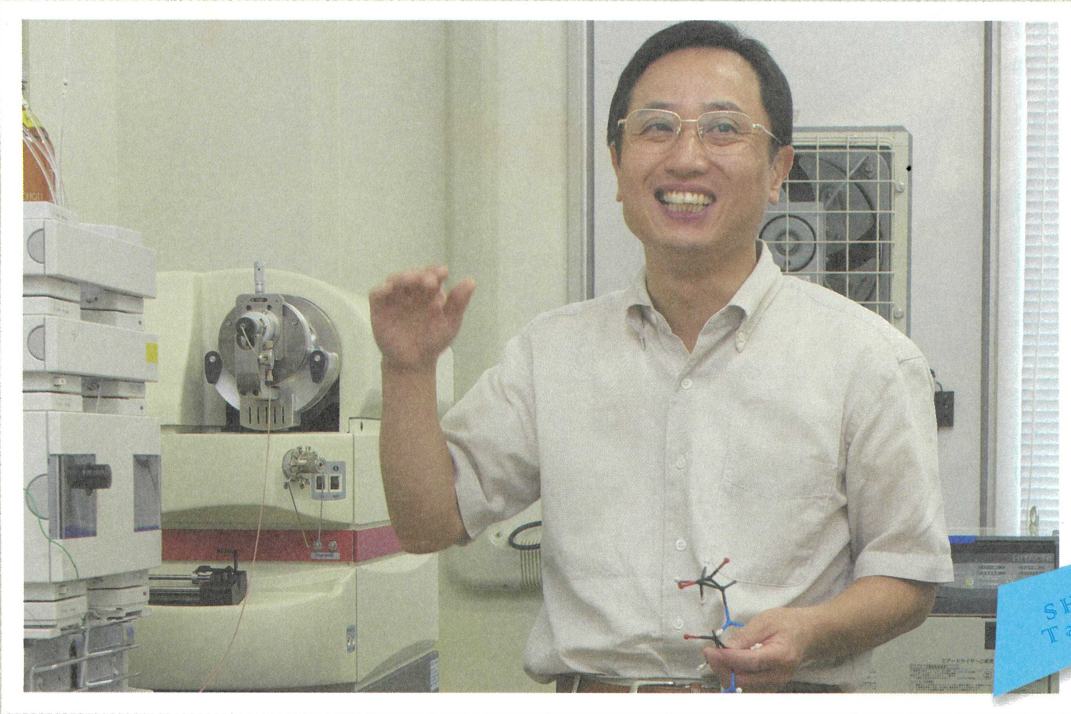


マグカップ

研究に欠かせない器具や分析機器は沢山ありますが、毎日愛用しているのはこれ。第1期の卒業生から頂いたものです。

File **03** 教授 **田母神 繁**
Shigeru Tamogami

生物生産科学科
生物活性物質グループ



SHIGERU Tamogami



研究内容

●ジャスモン酸による植物揮発性物質の誘導

植物は動物とは違い、移動することで病虫害から身を守ることはできませんが、自分を守る特別な防御機構をいくつか持っています。例えば、植物が害虫による食害を受けると揮発性物質を放出して助け(天敵)を呼んだり、あるいは、周囲の植物に害虫の存在を知らせ、防御の準備を促す働きがあることが知られています。一方、植物が持っている防御機構のスイッチをオンにする化合物として、ジャスモン酸と呼ばれる植物ホルモンが知られています。このジャスモン酸がどのようにして働いているのかを研究することも大きなテーマのひとつです。将来、このジャスモン酸や揮発性物質を上手に活用した植物の病虫害防除法が可能になることを期待しています。

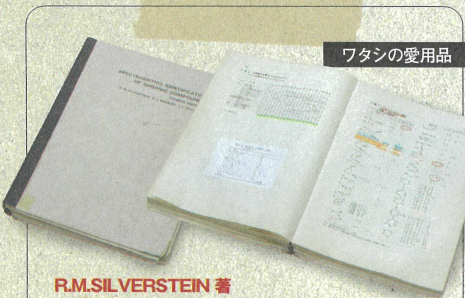
01. 今の研究に取り組むことになったきっかけは？

研究のバックグラウンドは有機化学ですが、県立大学に来てからは、植物を扱う研究を増やしたいと考え、今日まで来ました。植物がつくる揮発性物質の研究は、植物を有機化学的研究するという意味でピッタリなので始めました。

02. 研究の楽しさ、やりがい？

研究はものすごく純粋というか、公平です。しごく当然のことですが、どんなに知識があっても、あるいは期待をこめて実験しても、研究が上手く行くとは限りません。逆に、発想と方法が正しければ、どんなに知識が不足していても上手く行きます。実験に失敗すればするほど、がっかりはしますが、この純粋さの世界で生きているという実感が、研究を続けるうえでの大きな張り合いです。

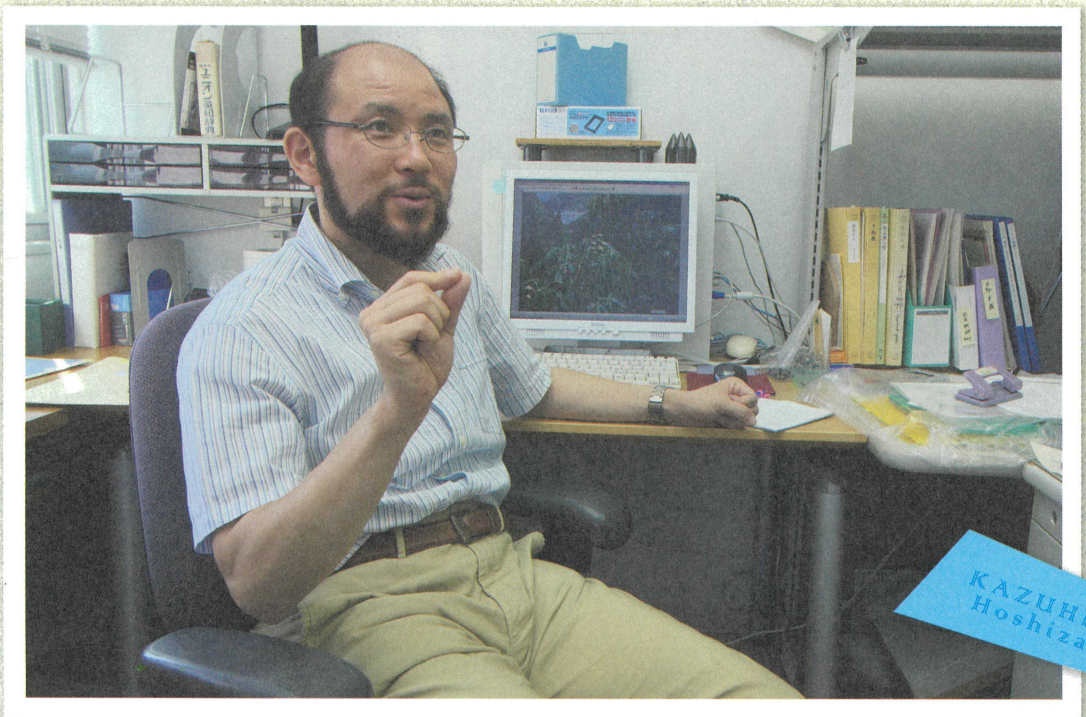
ワタシの愛用品



R.M.SILVERSTEIN 著
有機化合物のスペクトルによる同定法 第4版
毎日使っている機器についての世界的なベストセラーです。今でもデータ集として重宝しています。

File **04** 准教授 **星崎 和彦**
Kazuhiro Hoshizaki

生物環境科学科
陸域生物圏グループ



KAZUHIKO Hoshizaki



研究内容

● 榎の実に含まれるサポニンの生態的意義

榎餅になる榎の実(栗よりもさらに一回り大きく、苦みの強いサポニンという成分を含んでいます。ネズミは冬をのりきるためにこの大きな実をさかんに集め、この過程で榎の実は分散していきます。トチノキにとって、ネズミは実を運んでくれる大事なパートナーですが、実が食べ尽くされても困ります。最近、実のサポニンがネズミにとって毒として作用することがわかったので、榎の実のサポニン濃度が実ごとにどのくらい違うのか、ネズミはサポニンの濃度に応じて榎の実を運ぶのか、といった問いをたててサポニンの生態的意義について調べています。

01. 研究の楽しさ、やりがい？

自然の成り立ちや生き物同士のつながりをより深く理解したいという好奇心、自分でとったデータをまとめること、物事を筋道だてて論理的に考えること、どれも研究ならではの楽しさです。さらに、議論を抽象化して物事の本質を考えることは、人間としての生きざまや社会のあり方を考えることにもつながっていくと思います。

02. 県大の良いところを教えてください。

学部の規模が大きすぎず、学科間の壁が他大学に比べて低いことでしょうか。以前の自分ではとても出来なかったようなテーマでも、技術的なことなら相談すれば好意的に協力してもらえますし、実際「餅は餅屋」の格言通りだと感じます。

ワタシの愛用品



スチールカメラ、？(はてな)マジック、標識テープ
カメラは自然の記録、プレゼンテーションの説明用に欠かせません。フィルムカメラは生き物の微妙な色をデジカメよりも忠実に再現します。標識テープとマジックは、森の中の調査では目印として重宝します。同じ油性インクでも耐久性や雨の中での書きやすさはメーカーごとにかなり違っていて、屋外ではこの"？(はてな)マジック"に限ります。

「イヌナ」は、秋田弁で「良いですね」と言う意味。人材育成・研究開発を通して、地域社会の発展のために「良い」ことを発信していきたいと言う願いを込めています。これからも応援よろしくお願いします。

秋田県立大学は来年で開学10周年

秋田県立大学は平成21年6月5日に開学10周年を迎えます。記念行事を行うほか、それにむけた募金活動を進めています。



★開学10周年記念行事

- ・記念式典の開催(平成21年6月5日)
- ・10年間の教育、研究、地域貢献の活動成果を報告する記念誌の発行
- ・著名な科学者を招いた記念講演会の開催 など

★募金事業

【目的】

1. 秋田県内出身者を経済支援するための独自奨学金制度創設
2. 交流協定締結海外大学との学术交流・留学生交換の促進

【募金目標額】1億円

●募金趣意書・振込(払込)用紙をご希望の方は、下記まで住所・氏名・電話番号をお知らせください。

地域連携・研究推進センター

担当:進藤、渡辺 TEL.018-872-1557 E-mail:chiken@akita-pu.ac.jp

特許ソース

秋田県立大学の特許を活用してみませんか?

秋田県立大学では様々な研究の成果として、多くの特許を出願しています。現在、これらを活用して、実用化のための産学共同研究や開発が進められています。

特許名:木質系バイオマス粉碎用
高衝撃粉碎機と運用方法

公開番号:特開 2008-093590

公開日:2008年4月24日

発明者:日置進、伊藤新、
高橋武彦

最近話題のバイオエタノールは間伐材や被害木などからも製作可能ですが、その前処理として木片を細かく粉碎しなければなりません。従来のやり方だと時間がかかる上に効率が悪かったのですが、この発明により、短時間で効率よく高品質のバイオマス粉末が作れます。

特許名:低カリウムホウレンソウ
およびその栽培方法

公開番号:特開 2008-0615876

公開日:2008年3月21日

発明者:小川敦史、田口悟

腎臓病透析患者はカリウムの摂取量が制限されています。この栽培方法で作られたホウレンソウは、普通のホウレンソウの1/3から1/4までカリウム含有量を減らすことが可能です。これにより、普段より多くの葉菜類を食べることができるようになります。

特許名:オーニソガラム・シルソイデス
の球根生産方法

公開番号:特開 2008-048655

公開日:2008年3月6日

発明者:神田啓臣、高橋春實、
吉田康徳

「オーニソガラム」は南アフリカ原産のユリ科の花です。この発明により特別な機材・技術がなくても省スペース、低コストで増殖効率の高いウィルスフリー株の球根を大量生産でき、また高品質の花を栽培することが可能となります。

●紹介した特許に関するお問い合わせは

地域連携・研究推進センター

TEL.018-872-1557 E-mail:stick@akita-pu.ac.jp



Akita Prefectural University

秋田県立大学

<http://www.akita-pu.ac.jp/>

E-Mail: koho_akita@akita-pu.ac.jp

【秋田キャンパス】●本部・生物資源科学部 ●大学院/生物資源科学研究科
〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西 241-438 TEL.018-872-1500 FAX.018-872-1670

【本荘キャンパス】●システム科学技術学部 ●大学院/システム科学技術研究科
〒015-0055 由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4 TEL.0184-27-2000 FAX.0184-27-2180

【大湯キャンパス】●生物資源科学部(アグリビジネス学科3・4年次)
〒010-0444 南秋田郡大湯村字南 2-2 TEL.0185-45-2026 FAX.0185-45-2377

【木材高度加工研究所】
〒016-0876 能代市宇海詠坂 11-1 TEL.0185-52-6900 FAX.0185-52-6924

